



城上幼稚園だより

すくすく

「共に学び 共に輝く 城上の子」

令和6年5月20日（月）発行

TEL 30-2155

「想像力」と「創造力」

園長 米丸 寛之

今年度の園生活が始まり2か月が経とうとしていますが、園児の皆さんが、元気よく生活を送っている姿に嬉しく思うと同時に、保護者の皆様が、日頃から子どもとの関わりを大切にいただいていることが園での様子につながっているんだなああとありがたく思います。

さて、先日、手島紬さんが考えたオリジナル脚本で、園児が協力しながらアンパンマンの人形劇を披露してくれました。新キャラクターのトイレマンが登場したり、主要キャラクターが勢揃いしたり、また、バイキンマンとメロンパンナちゃんが結婚する驚くストーリーで、最後の最後まで目の離せない素晴らしいものでした。

想像力と創造力という言葉があります。

○ 想像力…自身が経験していないことや未来のこと、現実には存在しないことを、頭の中で思い描く力

○ 創造力…想像したアイデアや物事を実際に形にする力です。

日常生活のあらゆる場面で、想像力と創造力が必要となります。例えば、相手の立場を想像することで思いやりの気持ちをもって相手と接して人間関係が円滑になっていき、学習や仕事などの場面で想像力を働かせることができると、目的のためにどのような役割を果たしたらよいかを考え、具体的な行動から成果を出しやすくなります。

これからの時代は、移り変わりが激しく、先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態です。そのような中、想像力と創造力は、未来を切り開いていく上でより一層必要不可欠な力となります。

園児の皆さんが披露してくれた今回の人形劇の発表は、正に想像力と創造力の両方の力が発揮されたものであり、しっかりと育てられていることを示してくれました。

これからも、様々な体験や出会いを通して、豊かな想像力と創造力を育ててほしいと思います。



「親子20分間読書」運動～本がひらく わたしの未来～

薩摩川内市では、今年度、子どもの家庭での居場所づくり・絆づくりの取組を、「親子20分間読書」を土台にして進めていくことになりました。

「読書」は「知識力」「豊かな語彙力や表現力」、上にも紹介した「想像力」などを育てていくことにつながります。

それを親子で一緒に行っていくことにより、親子の信頼関係を深めたり、子どもの安心感を高めたりすることにもつながります。

す。

- ・ 寝る前の少しの時間に親が絵本を読む。
- ・ テレビやゲームのかわりに、一緒に絵本を開いてみる。
- ・ 読み終わったら、親子で本の内容について感想を言ったり、ほめたりする。

様々な方法があります。感想を聞いた時の子どもの思考には、驚きや素晴らしさを感じ、親として自分自身の生き方を考えさせてくれることもあります。ぜひ、取り組んでみてください。

